

神戸女子大学地域連携推進センター活動開始

—地域の「暮らし」と「文化」に貢献する女子大学の特性を生かして—



神戸女子大学は、地域が求める大学、時代が求める大学を目指し、積極的な社会連携・協力を行ってきました。女子大学であることの特性を生かし、公共機関・行政機関とも連携した地域の「暮らし」や「文化」に貢献する活動を行っています。

平成28年度から、これまでに本学が行ってきた地域社会との連携に関する諸活動を組織的・総合的に推進し、円滑な運営を行い、教育と学術研究の成果を地域に還元するために、地域連携推進センターが発足しました。同センターは、地域連携推進委員会、公開講座運営委員会が行っている事業の運営を統括し、地域貢献を効率的に推進するために活動を開始しました。

今回は、地域連携推進センターが新しく着手した事業や特徴的な地域活動の情報をお伝えします。

神戸女子大学地域連携推進センターの発足にあたって

地域連携推進センター長(文学部 教授) 齊山 美津子



今日大学は教育と研究を本来の使命としながら、直接的な「社会貢献」も重要な柱となり、大学の「第三の使命」となっています。本学は40年余り、地道な地域活動を続けてきましたが、その実績が基盤となり、この度「地域連携推進センター」を開設しました。

地域は多面的な要素があり、取り組む課題も多岐にわたり、地域がもつ多様性・独自性・独創性を生かして大学と地域が相互に協働していくことが重要です。

センターの主な活動は①協定を結んだ自治体等との連携活動 ②地域を対象とした教育・研究活動 ③本学がもつ知的財産の地域への還元(生涯学習・公開講座)等です。特に教育については、学生の地域活動への積極的な参加が視野・視座を広げ、自主性・社会性・人間性を育む機会となります。研究においては、大学と地域が連携し、より包括的で総合的な方向を目指す必要があり、今後はこれまでの成果を踏まえつつ地域と関わる取り組みが期待されます。

今後ともセンターへのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公開市民講座 ポートアイランドキャンパスで秋季講座始まる

「神戸女子大学公開市民講座」は昭和56(1981)年に第1回を開講し、平成28年で35周年を迎えました。これを機に初めて須磨キャンパス(春季)、ポートアイランドキャンパス(秋季)、それぞれで開講することになりました。平成28年度のテーマは「健康寿命のレシピ」です。

ポートアイランドキャンパスは、健康福祉学部に加え平成27年度に看護学部、平成28年度に大学院健康栄養学研究科が開設され、「健康」「福祉・介護」「医療・看護」の知の集積地となりました。須磨キャンパスの家政学部の「食」「生活」と連携することにより、健康と生活を取り巻くさまざまな課題に総合的に取り組む体制が整い、神戸女子大学の多角的な研究と知見をこれまで以上に紹介する第一歩となりました。

テーマ:健康寿命のレシピ

開催日:平成28年10月1日(土)~12月3日(土)

	開催日	テーマ	講師
第1回	10月 1日	思い出を活用した地域作りから生きがいの向上へ	健康福祉学部社会福祉学科教授 津田 理恵子
第2回	10月22日	うつ病を予防しよう:いきいきと自分らしく生きるために	看護学部教授 玉木 敦子
第3回	10月29日	ダイエットとは足し算である!	大学院健康栄養学研究科教授 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科教授 鈴木 一永
第4回	11月26日	「老いと介護」	看護学部教授 藤田 冬子
第5回	12月 3日	心とからだの健康-衣服が果たす役割-	家政学部准教授 十一 玲子



平成28年10月1日(土)「思い出を活用した地域作りから生きがいの向上へ」
講師:津田理恵子教授

地域連携のコーディネート 地域連携推進事務室

地域連携推進事務室は、地域連携推進センターより1年早く平成27年度、須磨キャンパスに開設しました。

平成28年度から地域連携推進センターの事務所管部署として、地域の団体・組織からの相談・依頼を受け、地域連携に関心のある学生や教職員への情報伝達・コーディネートなどの業務を行い、地域社会と連携する総合的窓口となっています。

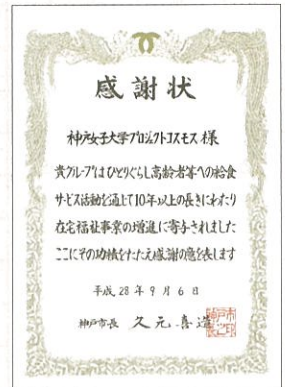
また、「学生が地域とともに学ぶこと」を第一義に、学生の学びとなるプログラムを地域連携推進委員会とともに開発し、学生へ発信しています。一例として、神戸市立須磨離宮公園とのキャンパス・パーク連携では、Study&Funプロジェクト「めざせ! ローズ・マスター」という継続ボランティア活動を企画し、運営するという重要な役割を担いました。

さらに、大学がもつ知的財産を地域へ還元するために、公開講座運営委員会とともに、公開市民講座等を企画し、開催までのコーディネートや広報活動、受講者への対応を行っています。

地域連携推進事務室では、以上のような取り組みをホームページや地域連携活動報告書を作成することで大学内外に広く発信し、地域連携推進センターを支えています。



地域連携の始まり 「ふれあい給食」感謝状が授与される



「神戸女子大学プロジェクトコスモス」の永年にわたる福祉活動への貢献に対して、平成28年9月6日(火)神戸文化ホールで開催された平成28年度「神戸市社会福祉大会」において、神戸市長から「感謝状」が授与されました。

このプロジェクトは、近隣の高倉台地域にお住まいの一人暮らしの高齢者を対象に給食サービスをするものです。教職員や学生との交流を図り、引きこもりの予防や健康づくりに貢献することを目的に平成17年から当時の家政学部管理栄養士養成課程の教員の尽力で始められました。

「ふれあい給食」は月1回、年10回須磨キャンパスの学生食堂2階の特別食堂において、NPO法人「輝たかくら台」のメンバー、給食の配膳などをするボランティア学生、学生課、施設課、馬淵商事の協力で開催され、毎回30人余の参加があります。

「ふれあい給食」は、参加者全員の合唱で始まり、昼食タイムは季節の味覚満載の給食を召し上がっていただきます。食後のふれあい交流では、毎回、各クラブが交替で工夫を凝らしたパフォーマンスを考え、ともに楽しい時間を過ごしています。



季節にちなんだ歌、懐かしい歌の合唱



給食の様子



ふれあい交流：ローターアクトクラブのフラダンス(ウクレレ演奏は文学部英語英米文学科のトーマス・ガリクソン講師)

BBS部 須磨警察署から活動委嘱状を交付される

平成28年7月に、兵庫県須磨警察署長から、BBS部の部員16名に地域の防犯活動と少年少女の健全育成活動のボランティアを委嘱されました。委嘱状の交付式には8名の部員が出席し、長島 和彦須磨警察署長から一人ひとりに委嘱状が手渡されました。式典後、部員たちは長島署長らと懇談、BBS部の活動内容を説明し、今後の防犯活動への取り組みについて意見を交換しました。

従来の活動に加えて兵庫県警察本部の広報活動にも協力し、部員は若者の発想で活動の幅を広げたいと意気込んでいます。



活動委嘱状交付式



兵庫県警察本部の広報活動に協力する学生

BBSはBig Brothers and Sisters Movementの略称
神戸女子大学のBBS部は兵庫県BBS連盟の加盟団体として、さまざまな問題を抱える少年少女の更生保護の諸活動に参加。独自の活動を企画し、保護観察下の少年少女と一緒に参加できるイベントの開催や地域の保護司会、更正保護女性会、須磨警察署と協力し、街頭での犯罪非行防止活動も行う

地域の安全活動に研究室が協力

神戸女子大学家政学部 家政学科の梶木典子教授(専門:都市計画・住環境)のゼミ生3、4年生18名が、平成28年11月11日(金)に、神戸市兵庫区役所まちづくり課が主催した神戸市立水木小学校5年生34名の「地域安全マップづくり教室」に参加協力し、小学生の「まち探検」「安全マップづくり」をサポートしました。

子どもが巻き込まれる事故や犯罪の安全対策として、子どもたち自身が危険を回避する力を身につけ、地域の特徴を知り、地域の人と顔見知りになる方法の一つが「地域安全マップ活動」です。

午前中は、学生が先生役になって小学生に防犯・防災対策の事前授業を行い、その後、六つのグループに分かれて、学生たちと一緒に校区内の「まち探検」に出かけました。子どもの目線で危険な場所や「こども110番『青少年を守る店・守る家』」などをチェックし、地域の人へインタビューを行い、防火水槽と交番の場所も確認しました。また、良いところを探して地域への愛着心も高めました。

午後は、「まち探検」の成果を取り入れ「安全マップ」を作る子どもたちのサポートをしました。

今回から、まち探検では「いいね」「だめね」マークを撮影時に入れました。マップづくりの際には、書き込み作業を分担してできるようになっており、児童は協力して作業を進めることができました。

作成した安全マップは、保険会社のコンテストに出展するため、どのグループもきれいに仕上げるように学生も一緒になって最後まで頑張りました。発表の時間ではグループごとに「まち探検」で見つけた良かった場所、危険だと思う場所を自慢のマップで示しながら、クラス全員で、さまざまな情報を共有することができました。

最後は、毎回大好評の「大声コンテスト」を行い、学生が測定器の数値を読み上げるたびに教室は歓声で一杯になりました。

梶木研究室では、改良を加えてさらに子どもたちが楽しく「安全マップ活動」ができるように研究を続けています。



クイズ形式で防犯・防災を学ぶ事前学習の様子



「まち探検」で防火水槽を確認。兵庫消防署の方から消火栓の説明を受ける



「安全マップ」の作業をサポートする学生



発表会の様子

神戸女子大学の主な地域連携協定

- 神戸市中央区(平成20年1月)*
- 神戸市立須磨離宮公園(平成18年12月)
- 神戸市須磨区(平成18年3月)
- 伊丹市教育委員会(平成18年2月)
- 芦屋市教育委員会(平成16年7月)
- 神戸市教育委員会(平成15年4月)

*は学校法人行吉学園として締結

